

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表： 2020年 2月 8日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」富田

校

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4			
	②	職員の配置数は適切であるか	4			
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	3	1		建物の構造上バリアフリー化をするためには大幅な工事が必要となり、現状対応が困難です。安全面に配慮して介助等の対応いたします。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	4			職員面談を行い、支援の改善に向けて話し合い、PDCAサイクルのどの状況にあるかを確認しています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4			
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	1	3		昨年度、一昨年度の自己評価公表結果HPにて公開しています。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4			関係事業所との交流の中で評価にかかわる意見収集に努めています。また、内部監査を行い、業務改善に努めています。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4			月に一度（財）発達支援研究所による研修を受けています。また外部の研修にもできるだけ参加ができるように努めています。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4			
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3	1		
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4			主担当が中心に立案し、全員で練り上げています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4			活動プログラムに関しては基本的には「利用者に見通しと安心感を持っていただくため、決まったプログラムを繰り返し実施しながら、徐々に新しいプログラムを入れていく形」とっております。そのため毎回異なるプログラムというわけではありませんが、固定化しないように配慮しております。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4			長期休暇時には、宿題の見通しができるような補助や自由研究と一緒に考えるなどの工夫をしています。

	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	1	1	2	月曜開室時などを利用し、集団活動を行うなどして適宜組み合わせを工夫しております。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	1	3		必要なことは支援前後にかかわらず共有しています。また、朝礼などを利用し、支援前に再度確認するよう努めます。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	2	2		必要なこと、緊急を要することは支援終了後に共有を行い、そうでないものは朝礼などの機会を用いて適宜確認しています。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4			
	⑱	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4			
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	4			
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか	4			
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか		2	2	個別療育という形式のため、具体的な交流は難しい。しかし他機関の情報収集に努め保護者様に提供いたします。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		3	1	現在医療的ケアが必要なお子様のご利用はありません。今後受け入れが必要な場合は主治医等と連絡体制が取れるよう努めます。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	1	3		保護者のご希望と了解をいただいたうえで情報共有と相互理解に努めます。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		4		保護者のご希望と了解をいただいたうえで対応いたします。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	1		（財）発達支援研修所より助言や研修を受けています。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			4	交流機軸設定は難しいが関係機関の取り組みなどの情報を積極的に収集し、保護者に適宜提供できるよう努めます。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	1		3	高槻市の協議会に参加するように努めます。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4			支援後の振り返りで変化をお伝えしています。今後も保護者様にお伝えする際、具体的にお伝えすることで理解の促進に努めます。

	⑳	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	4			振り返りの際に家庭状況などをお伺いし適宜支援につながるものを行っています。
保護者への説明責任等	㉑	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4			
	㉒	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4			振り返りの際に家庭状況などをお伺いし適宜支援につながるものを行っています。
	㉓	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1	1	2	2019年度1回勉強会を含めたパパママカフェを開催いたしました。2020年度も同様の企画を行うとともに回数の増加に努めます。
	㉔	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4			
	㉕	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4			HP・掲示板の活用で情報発信を行っています。十分にご家族様に情報が届いていない現状がアンケートから見てきたため、LINEの利用を含めた速報性の高い情報発信に努めます。
	㉖	個人情報に十分注意しているか	4			
	㉗	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4			
	㉘	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	1	2	招待する等はできていない。今後もきらりのパンフレットや差し込み資料などにより、地域への情報発信に努める。
非常時等の対応	㉙	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4			マニュアルの策定職員の周知及び避難訓練は行っております。保護者様にはHP/line/掲示板などを活用し情報発信に努めます。
	㉚	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4			非常食の常備を含め、月一回、テーマを決めた訓練を行っています。
	㉛	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4			
	㉜	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	3	1		身体拘束に関する研修を行うどのような場合に行うことができるか職員間で周知しています。身体拘束が必要な際は事前に保護者と協議し、必要な手続きを得て実施いたします。
	㉝	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	1		3	現状食べ物を扱う支援を行っていません。今後食べ物を扱う場合は事前に紙面にて注意喚起を行うなど安全配慮に努めます。
	㉞	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4			

保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果（公表）

公表： 2020年 2月 8日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」富田校 保護者等数（児童数）： 回収数： 17 割合： 53 %

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見、ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	17	0	0	
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	11	6	0	専門性についてはどこまでされているかわからないので詳しい説明は必要だと思います。 →職員の資格については高槻市の事業所一覧に記載しております。ご利用に際して個々の職員の資格等に対してお伺いいただきましたら、個別でお答えさせていただきます。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	12	3	2	→バリアフリー化に関しては建物の構造大幅な改築が必要になります。安全面に配慮して支援させていただくことで対応いたします。
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 ⁱ が作成されているか	15	2	0	
	⑤	活動プログラム ⁱⁱ が固定化しないよう工夫されているか	14	3	0	
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4	3	9	未回答 1。 →具体的な交流は難しいですが、他機関の活動情報の収集に努め保護者に情報提供できるよう努めます

保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	16	1	0	
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	15	2	0	
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	16	0	1	→振り返りの際などに支援を心がけております。
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	5	10	1	未回答 1 他の保護者との意見交換のできる機会があると助かります。 →2019 年度勉強会を含めたパパまあカフェを実施いたしました。来年度も同様の会を計画しています。回数の充実に努めます。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	10	5	0	未回答 2 (うち 1 名は「わからない」と記載し未回答) →皆様からの苦情に対しては迅速に対応できるように配慮いたします。何より、皆様にご納得いただける支援を心がけます。
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	16	0	0	未回答 1 (「わからない」と記載し未回答) →HP/LINE/掲示板などを用いわかりやすい情報伝達に努めます。
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	12	5	0	→一昨年、昨年の自己評価はHPに掲載しております。
非常時等の対応	⑭	個人情報に十分注意しているか	17	0	0	(うち 1 名は「わからない」と記載し「はい」と回答)
	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	16	1	0	→マニュアル等は策定、職員間に周知済みです。災害時の避難経路、警察消防の電話番号等は支援スペースに掲示しております。
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	11	4	1	→非常食を準備するとともに、月に一度防災訓練を実施しています。
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	16	1	0	子どもは自分を表現すること、好きな遊びを通して、スタッフの方とコミュニケーションとれるのがいいと思います。 →個別に支援内容を決定しております。支援内容に関して疑問に思われたことなどございましたら、お問い合わせください。相談をさせていただきながら内容の確認、必要と判断される場合は変更をさせていただきます。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	15	1	1	子どもの苦手なところを克服するためにどのような支援をすればいいか、計画を明確に提出し、それに基づいて支援内容を組んでいただければ有難いです。 →苦手なことに対する具体的な対応策を個別支援計画内に書き込むことは現在行っていません。例えば、算数の苦手なお子さんに対して空間認知を伸

					ばす支援を行うことがあります。すぐに結果に結びつくものでなく長期間に及ぶため、算数のための支援と書いていません。支援時の課題内容に関して疑問がある際には担当までお尋ねいただけましたらご説明いたします。
--	--	--	--	--	--

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。